

発行所  
石川県保険医協会  
〒920-0902 金沢市尾張町2丁目8番23号  
太陽生命金沢ビル6階  
☎(076)222-5373番 FAX(076)231-5156番  
編集部E-mail; isk\_w\_sugino@doc-net.or.jp  
発行人 井沢宏夫  
印刷所 ソノダ印刷株式会社  
購読料 1年間5,000円(〒共)  
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

# 石川保険医新聞

主な記事

2面 第15回会員デビュー講演  
第3回食育講演会  
9条の会・勝尾金弥講演会  
3面 第22回保団連医療研究集会  
4面 歯科医療危機突破全国集会  
5面 原爆症認定基準見直しへ  
6面 診療報酬関連記事  
7面 歯科保険医自殺問題緊急集会  
10面 複眼で見る読書教室・憲法

今月の会員数/1014人(医科730人・歯科284人)



民主党参議院議員の一川保夫議員(左)に請願署名の紹介議員を依頼する神田事務局長(右)



自民党の馳浩衆議院議員(左)は、主旨は理解するが財源問題が・・・と回答

## 一川保夫参院議員、馳浩衆院議員に陳情 医療崩壊阻止と健全な自主共済制度の存続を訴える 一川議員が請願署名の紹介議員に

十月十八日、医療崩壊阻止・健全な自主共済の運営継続を訴える保団連中央行動に参加し、地元選出国会議員へ陳情を行いました。午前十一時、民主党の一川保夫参議院議員と面談。医療問題に関しては、会員の先生方より協力いただいた九十筆の「来年度予算編成にあたり社会保障費削減を撤回し診療報酬引き上げや患者負担軽減を求める要請書」を手渡し、二〇〇二年より三回連続のマイナスイ改定が行われ、医療機関が疲弊している事実と国民負担が高すぎる状況を訴えました。

これに対し一川議員は、「国会でも取り上げられており、重要性は認識している」と回答されました。「問題があることは理解し

また、保険業法の改正に伴い自主的な共済が危機に立たされていることを説明し、自主共済を守る運動への協力と保険業法の経過措置期間延長の二点を訴えました。

一川議員は、この問題にも理解を示し、今回集約した六十筆の保険業法の適用除外を求める請願署名の紹介議員を快く承諾してくださいました。

引き続き午前十一時半、自由民主党・馳浩衆議院議員と面談。医療問題に関しては、前述の要請書を手渡すとともに窮状を訴えました。馳議員は、「趣旨は理解するが、財源問題があるのでは」と回答され、自主共済規制問題については「問題があることは理解し

福祉マップ 第7版 発行!

### 医療機関疲弊の状況に 両議員とも理解を示す

続いて、午後からは日比谷野外音楽堂で行われた「医師・看護師ふやせ!ス トップ医療崩壊一〇・一八中央集会」に参加しました。この集会では、「医師・看護師を増やしてください」「患者負担を軽減してください」「国の医療予算を増やしてください」の三つの基本要求を掲げ、全国から五千数百人の医療労働者が集まりました。

集会では、タレントの清水國明さん、埼玉県済生会栗橋病院副院長の本田宏さんが

### 午後からは五千百人が集い 医師・看護師増を求める集会

谷野外音楽堂で行われた「医師・看護師ふやせ!ス トップ医療崩壊一〇・一八中央集会」への賛同署名を頂いたことについて、協会よ

午後からは五千百人が集い、医師・看護師増を求める集会が行われました。この集会では、医師・看護師を増やしてください、患者負担を軽減してください、国の医療予算を増やしてくださいの三つの基本要求を掲げ、全国から五千数百人の医療労働者が集まりました。

◆A4判・294頁

福祉マップ 改訂第7版

ひと目でわかる医療・福祉サービス利用マップ

最新の医療保険・介護保険制度  
障害者自立支援法対応  
充実した権利擁護解説  
県下自治体の福祉制度・施設一覧

一冊 一、五〇〇円(税込)

◎会員には1冊無料で送付します。

われ、医師不足問題にも世論の注目が集まり国会でも盛んに議論されています。この状況変化には、国民からの強い要請と現場の声が大きな「風」となりました。

今後とも、現場から地域から実情を直接訴えるとともに、地域の皆さんへの理解を広げ、一丸となり活動を行うことが重要となります。

保険医協会としては、一川保夫参議院議員に請願署名の紹介議員を引き受けて、再々いただいたことを受け、再度、自主共済規制署名に取り組み、自主共済に対する新保険業法の適用除外を実現したいと考えます。

休業保障だけでなく、地域にある多くの共済制度が危機にあるというところを地域の皆さんに理解いただき、署名の輪を広げるためにご協力ください。

また、先日、日本産業衛生学会地方会(学会会長は小森貴石川県医師会会長)の記念講演で、能川浩二医師(元金沢医大、前千葉大衛生学教授)は戦前「女工と結核」を発表した石原修医師を紹介し、病気をなくすために医師は命をかけて真実を国民に知らせることが必要と述べました。大正二年、石原氏は紡績女工の過酷な労働と結核罹病の関係

金沢市医師会主催の病診連携の集いで講演していただいた本田宏医師が、先月「医師・看護師ふやせ!ス トップ医療崩壊!中央集会」に参加し、「映画シッコで、フランスでは自分たちの主張をデモなどで訴えることは日常茶飯事と紹介されていたが、私にとってデモ参加は初めての経験でした。今まで、いかにこのような社会活動に関して無知であったかを思い知らされました。」とブログ「勤務医よ、闘え!」に書いています。

### 医心凡語

金沢市医師会主催の病診連携の集いで講演していただいた本田宏医師が、先月「医師・看護師ふやせ!ス

# 第15回 会員デビュー講演・シンポジウム

## 各演者と参加者との 有意義な懇談が

理事 三宅 靖 (金沢市・内科)



後半のシンポジウムでは、各演者にたくさんの質問が寄せられた。左から司会の三宅靖理事、森明弘、橋本憲三、大門正一郎各講師

総務部から会員動向・未入会員の訪問報告と、核戦争を防止する石川医師の会や九条の会・石川医療者の会の報告。

経営・共済部から自主共済問題について、十月四日の北信越ブロック事務局検討会と十一月一日予定の県内自主共済関連団体との懇談会計画の報告。

歯科部から食育講演会の盛況と「歯は命」歯科医療危機突破一〇・二八決起集会」の取り組み報告。

医療福祉部から「福祉マップ」編集追い込み作業と「福祉マップ」フォローアップ計画の報告。

機関紙・文化部では、

### 第13回 理事会点描

## 伊藤真氏の 招聘が決定

(10月16日・12人出席)

持論の検討に際して、夜間救急医療と昼が忙しいから夜間の診療になる患者とを分けて考えることや夜間に診療に行かざるを得るために産科医院の困難な対応などが話し合われた。

協議事項に入り、来年度の総会二月十六日(土)には、九条の会・石川医療者の会との共同企画で、記念講演に法学館／伊藤塾塾長の伊藤真氏を招聘することを決定した。

また、後期高齢者医療を考えるシンポジウムの共催となり、パネラーにも参加することや監査を契機とした東京歯科保険医の自殺事件の詳細を調査すること、県下自治体の特定健診事業に関する実態調査をすることが確認された。

【小島 記】

十月二十五日、金沢都ホテルにおいて第十五回「会員デビュー講演・シンポジウム」が開催されました。今回は、いずれも野々市町で開業の大門正一郎氏(内科)、橋本憲三氏(内科)森明弘氏(外科)の三人の先生方に演者をお願いし、三者三様のそれぞれに個性豊かな興味深い内容のお話をお聞きすることができました。

最初の大門先生は、腎臓内科医としての豊富な経験を活かして透析に特化した診療所を開業しておられます。末期腎不全の患者さんと真摯に向き合い、ご開業後もなお移植医療にも積極的に関わっていらつしやる姿勢を落着いた語り口でお話いただきました。

二人目の橋本先生は「大森原に飛び出して」という参加人数は二十人に満たないこじんまりした会ですが、フロアからも多くの質問が寄せられました。

森先生は、思いもかけない事情で最後の勤務地を離れることになり、その後の大変なご苦労のちに、スポーツクラブ内にテナント開業をされ、得意の内視鏡を駆使して診療にあたり、勤務医を辞めてから開業までの苦労話やテナント開業のメリット・デメリットなど、初めて聞く内容がほとんどで、深く感銘を受けました。

三人の先生方は開業に至るまでの道のりはそれぞれ異なるものですが、ご自分の能力を最大限に活用し、地域医療に貢献していく熱い心は共通にお持ちであると確信いたしました。

自分を省みるに恥ずかしい限りですが、また初心を思い起こし大いに刺激となりました。

まだまだ内容の紹介も十分ですが、来月号からは、各演者の発表内容の要旨が掲載されます。どうぞご期待ください。



歯科医師、歯科スタッフをはじめ、看護師、保健師、行政関係者、養護教諭、保育士など、さまざまな職種91人の参加があった

### 第三回食育講演会

## カムカム大百科「歯科医師から見た食育」

### 「食べる」「話す」に影響する 食環境を学ぶ

食育プロジェクト 長門 佐 (金沢市)



講師の岡崎好秀氏

十月十四日、金沢流通会館で岡山大学病院小児歯科講師・岡崎好秀先生を講師に迎え、カムカム大百科「歯科医師から見た食育」と題し、第三回食育講演会を開催した。

参加者は歯科医師、医師、歯科衛生士、(管理)栄養士、歯科助手、看護師、保健師、行政関係者、養護教諭、保育士などで

乳児期のむし歯と健康状態の関連性、家庭環境の変化により口腔内環境も変化していく様子などは、日ごろわれわれが見落としがちな点であった。

三歳の障害児の口腔内に舌上床装置を入れることで飛躍的に話すレベルが向上した症例をビデオで見せていただいたときには、目からウロコであった。口には動物が進化してきた過程で備わった「食べる」とい

子どもたちの体力が摂食の仕方どう変わるのか、乳児期のむし歯と健康状態の関連性、家庭環境の変化により口腔内環境も変化していく様子などは、日ごろわれわれが見落としがちな点であった。

三歳の障害児の口腔内に舌上床装置を入れることで飛躍的に話すレベルが向上した症例をビデオで見せていただいたときには、目からウロコであった。口には動物が進化してきた過程で備わった「食べる」とい

子どもたちの体力が摂食の仕方どう変わるのか、乳児期のむし歯と健康状態の関連性、家庭環境の変化により口腔内環境も変化していく様子などは、日ごろわれわれが見落としがちな点であった。

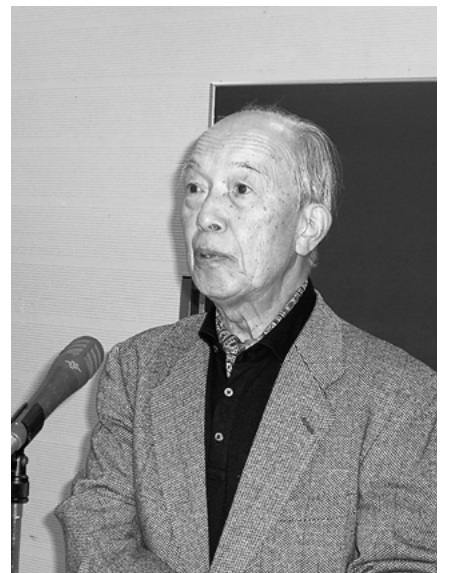
三歳の障害児の口腔内に舌上床装置を入れることで飛躍的に話すレベルが向上した症例をビデオで見せていただいたときには、目からウロコであった。口には動物が進化してきた過程で備わった「食べる」とい

【関連記事八面】

## 九条の会・石川医療者の会 第5回憲法講演会

### 講師に勝尾金弥先生を招いて 私が見たアジア・太平洋戦争

会長 井沢 宏夫 (金沢市・内科)



講師の勝尾金弥氏

十月二十一日(日)、県教育会館において、九条の会・石川医療者の会の第五回憲法講演会が開催された。講師は児童文学作家の勝尾金弥先生で、四十五人が参加した。

勝尾先生は少年時代を旧満州・大連で中学生時代まで過ごされ、日本占領下の中国人友人との交際を通して、

を訪れたとき偶然に、日本占領下で大量殺戮があったことを知った。六十五年前に日本軍がシンガポールを占領するや、中国系住民の成人男子をことごとく集合させ、八人ずつを後手に縛り、トラックでチャンギ海岸へ連れ出し、機関銃や銃剣で集団的に殺戮したり、多数の者を船に乗せて沖で沈没させて殺害したという(生存者の証言)。戦後、その海岸にチャンギ国際空港が建設されたが、工事を請け負った大林組の手で無数の白骨が発掘されたという。犠牲者の遺品も膨大に残され眼鏡、腕時計、懐中時計、印鑑、ペン、バンドなどが市内のスナヤツセン・ヴィラで見られるという。



45人が参加した第5回憲法講演会

学校ではオーラル・ヒストリーという授業があり、生き残った高齢者が歴史の証人として「日本軍の残虐行為」を子どもたちに伝えているという。市の中央広

場に犠牲者を記憶に留めるためにメモリアル・タワーが建立されている。このよ

うな集団的な殺戮は、ほかの都市でも行われ、マラッカ市にも「記念碑」が建てられているという。

中国大連近郊の旅順市に「万忠墓」という墓所がある。一八九四年、日清戦争当時、黄海から遼東半島に攻めてきた日本軍が旅順に突入し、罪のない一般人、老若男女、赤ん坊に到るまで、すべての住民を対象に

大虐殺を行った。この事実

は、駐在していたアメリカの新聞記者により世界に報道され、さらにその

道され「日本は未開な野蛮国だ」と烙印を押され、世界に印象づけられた。日本国内では報道されなかつた。

虐殺の数年後、中国側には「過去のことを水に流そう」とする志向がある。しかし、被害に遭ったアジアの国々では、学校教育の中で、家族の中で「日本の蛮行」を語り継いでいる事実を、われわれは十分認識する必要がある。

## 持論

今年八月に妊産婦が奈良、大阪の九つの病院に断られ死産した事件が起こり、地方における救急診療体制が問題となった。

石川県でも、救命救急センターに指定されている公立能登総合病院で麻酔科医が不在のために、虫垂炎の幼児が金沢まで搬送された。運良く一命はとりとめたものの能登地区での救急診療体制の不備が指摘されている。

石川県における夜間の診療体制はどうか。金沢市では午後七時から午前〇時まで、内科と小児科の開業医が順番に夜間急病診療所に待機している。南加賀地区でも、小松市民病院に隣接して南加賀急病セン

## 患者の命を守るため 地方の救急医療 急がれる行政の対応

地方の救急医療

ターが設置され、病院と医師会の協力で内科、小児科の診療が行われている。

しかし、それ以外の地区には急病センターと呼ばれる施設はなく、内科、小児科以外の疾患

病院の当直医に頼るしかない。救急指定病院の中でも、大学病院なら全科の医師が当直しているが、それ以外の病院では、当直医が一人ないし内科系、外科系の二人がいるだけで、すべ

医師不足で、過酷な勤務を強いられる勤務医の今の実情では、全科の当直医を置くことは不可能であるし、来院するから分らない科の医師を当直させる必要性もない。しかし、当直

医が専門外の疾患を診察する時は、その疾患に適切に対処できる体制を整えておく必要がある。そのためには勤務医にまかせるだけでなく、各診療科の医学会や地区の医師会も協力すべきである。

に対しては、金沢市においても患者さん自身が診察してくれる医師を探さなければならぬ。時間外でも診察してくれる開業医が近くにいてくれればよいが、そうでない場合は救急指定

ての科の疾患に対応できていない。当然のことながら、当直医は専門外の疾患も診察することになり、これが患者さんの満足する救急診療体制と言えるだろうか。

地方の救急医療体制をよくするためには、行政が中心となつて、その地区の開業医、救急指定病院、大学病院が連携を取り合い、住民が夜間でも安心して医療を受けられる体制を整える必要がある。そのために、われわれ保険医協会も行政に働きかけていきたい。

## いのちの尊厳と平等を守ろう 後期高齢者医療制度を考えるフォーラム

◆とき/11月23日(金・祝) 13時半~16時 ◆ところ/金沢市松ヶ枝福祉館 4階集会室

### ◆内容◆

1. 制度の概要と問題点  
工藤 浩司氏(石川県保険医協会)
2. 各分野からの発言  
越野 勝次氏(石川県腎友会)  
堀中 光治氏(石川県糖尿病協会)  
大川 義弘氏(城北クリニック所長)

来年4月から後期高齢者医療制度が、高齢者に十分な説明もなしに、実施されようとしています。

後期高齢者医療制度では75歳以上の全ての高齢者から月額平均約7,000円の保険料が徴収されます。そして受ける医療は、74歳までの人とは違う安上がりの医療という問題を持っています。

いま、「この先どうなるのか」「中身がわからない」「高齢者の意見を言う場が欲しい」などの不安や要望が寄せられています。

後期高齢者医療制度の問題点を明らかにして、高齢者のいのちと健康を守るために何ができるのか、何をしたらいいのかを、みんなで考えるために、この集会を開催することにしました。友人・知人お誘い合わせの上、ご参加下さい。

■主催 後期高齢者医療制度を考えるフォーラム実行委員会  
■連絡先 石川県社会保障推進協議会 電話 076-253-1636 FAX 253-1459  
石川県保険医協会 電話 076-222-5373 FAX 231-5156

# 第22回保団連医療研究集会

## よかけん・いくけん・医療研～癒しの医療と平和を求めて～

# 1,300人が博多に集い、熱く語り合った2日間

「よかけん・いくけん・医療研～癒しの医療と平和を求めて～」をテーマとする第二十二回保団連医療研究集会が十月六、七日、福岡市の博多全日空ホテルで開催された。

今回は、全国から医師・歯科医師をはじめ多くの一般市民を含む千三百十三人の参加があった。石川協会からは会員五人、事務局一人が参加した。

一日目は、諏訪中央病院名誉院長の鎌田實氏とアルトサク奏者の坂田明氏による記念講演が行われた。鎌田氏は、末期がん患者とのふれあいを例に、診療におけるホスピタリティの重要性を語られた。また、イラクやチェルノブイリでの医療支援活動を通して、「戦争中は命が軽くなる」とその実情を報告すると共に、「温かな行為が温かな連鎖を生むんです。それが世界平和につながる」と信じています」と聴衆に訴えた。その後、坂田氏は「ミジコ」研究についてユーモアを交えながら講演した後、心に染みるサクソ演奏を披露し、会場を沸かせた。

二日目は、各分科会での発表に続き、午後から三会場に分かれシンポジウムが開かれた。

以下、石川協会からの各参加者による印象記・発表内容を掲載する。

### 演題発表

## 石川協会の

## 平和運動の取り組み

理事 大平 政樹(金沢市・外科)

土曜日の夕方、診療を終え、あたりの描写は割愛して、翌日の報告へ移ることにした。いつもは高速道路を自分で運転していくのだが、今回はひと味変わった移動手段だ。金沢市内ならどこからでも小松空港まで千円。家の前まで迎えに来てくれた上、ちゃんと空港へ送り届けてくれる、いわゆる乗り合いタクシーだが、意外に知られていない。帰りの便を告げておくと、帰りもとても楽だ。高速料金+駐車料+ガソリン代、どう考えてもお得だ。金沢市内の先生方にはお勧めだと思う。

福岡のホテルに到着したのは、夜の十時を回っていた。福岡は三十度を超えている。まるで真夏だ。この

事務担当からしかられそうである。

さて、私が発表した第五

分科会は、学術カテゴリーからはみ出たテーマばかりである。従って、内容もよく言えばバラエティーに富んでおり、悪く言えば雑多で統一性などない。レセプトオンライン請求、郷土の医学史、児童虐待・・・など、司会を担当する先生方



石川協会がこれまで取り組んできた平和活動を紹介する大平政樹理事

も苦勞されたことと思う。

私は、石川県保険医協会がこれまで取り組んできた、平和活動について報告した。このスライドを作るのに正味五、六時間費やした。この紙面でも紹介した。この紙面でも紹介した。この紙面でも紹介した。

核医師の会」との共同企画、そして外部団体との連携。圧巻は今年卯辰山で行われた「反核平和おりづる市民のつどい」のビデオ上映(二分半の要約だが)である。北山吉明先生の「千の風になつて」が会場にいた聴衆を魅了したことは言うまでもない。協会が取り組んできたコンサートや平和講演会には若者を中心として、毎年数百人の参加があった。こうした草の根の活動こそ、平和な日本を子どもたちへ手渡すために、絶対に必要なことだと確信している。

保団連には非核平和部会があり、各地の協会が様々

な形で平和活動を展開している。その中の一つに被爆者支援があるが、その活動はなかなか協会会員には見えにくい。憲法九条をどうするか、世の中に賛否両論があることは承知している。個人的にはその議論の前に、少なくともここ百年の日本の歴史、特にアジアにおける戦争の実態をもっと知る努力をすべきだと思う。過去を学ばない議論は、危険である。銃や兵器で、平和を築くことはできない。戦争という悪夢は、いやと言うほどその現実をわれわれに見せてきたはずだ。

資源の枯渇、地球温暖化、人が争う未来がすぐそこまで来ていることは自明だ。地上にあふれる大量破壊兵器が、絶対に日本へ向かってこないという保障などどこにもない。声を上げ、遅すぎることはない。

成し、外来カルテに挿入した。カルテの毎年、評価すべき項目としては、日本人の死因順位に合わせてがんおよび心疾患、脳血管疾患などの動脈硬化性疾患とその危険因子、慢性疾患として外来で管理すべき気管支喘息、COPD、甲状腺疾患、慢性腎疾患、骨粗鬆症なども入れている。

がん対策項目として、女性が死亡原因の十位まで評価できるように、肺がんは喫煙係数、胸部X線、胸部CT、喀痰検査。胃・食道がんは胃透視または胃カメラ検査。肝・胆・膵系がメラ検査。肝・胆・膵系がメラ検査。肝・胆・膵系がメラ検査。

また、年間検査予定表を欄として設けて患者の病態に応じて必要な検査項目、検査間隔などをあらかじめ記載し、外来スタッフも外来時に、当月の検査の必要性を理解できるようにした。

実施日を記入することによってがん対策、動脈硬化性疾患の危険因子、合併症の状態が一見して理解できるようにになった。患者にもそれを見てもらい、経年的な評価の大切さを理解して

### ポスターセッション

## 外来での

## 総合的管理を目指して

白崎 良明(金沢市・内科)

通院している患者が突然、予期せぬ合併症を発したり、がんが見つかったりするところがある。慢性疾患患者の外来診療では合併症の予防のみならず、悪性疾患を早期に発見し、患者のQOLを高め、生命予後を高める取り組みが重要である。

日常外来のなかで①慢性疾患管理の目的である合併症の有無、程度を評価する②悪性疾患の早期発見を意識的に取り組むことができるようにカルテ上の工夫をする。

「健康管理シート」を作

「経過」

「五面に続く」



ポスターセッションにて報告する白崎良明会員

（四面の続き）  
もらうようにしている。大腸腺腫の患者などは「もう検査の月ですわね」などと検査を申し出る人も多い。  
年間検査予定表を記入することによって外来スタッフも「今月、この検査の予定ですが」と指示を仰ぐようになってきている。

### 参加印象記

## 医科・歯科の連携進む

副会長 平田 米里(野々市町・歯科)

「健康管理シート」を利用するようになってから、二年間胃カメラ検査を床などの従来型の発表に加えて、歯周病と全身疾患との関係に関するコホート研究や歯周病のメンテナンスにおける自院におけるデータ分析の発表などが見られ始めたことは、歯科でもようやくデータをを用いて科学的な話をしようとする良い変化を見せ始めたようでありました。

今回の第一の注目発表は、東京協会の医科歯科連携研究『動脈硬化と歯周疾患』であろう。被験者数や研究のデザインについてまだまだ改善の余地があるも

の、全国的研究に展開しようとの呼びかけには、素直に賛同した。私も思わずフロアーから宇佐美歯科代表や、馬場副会長にバックアップの要請発言をしてしまった。この種の研究ができるのは保団連の強みであるからである。  
今後、石川協会の歯科会員に共同研究の呼びかけができる日を待ち望むと共に、私の所属する保団連研究部会でも働きかけをして

### 保険で良い歯科医療の実現を訴える街頭宣伝

## 「歯は命」歯科医療危機突破

### 10・28決起集会

小野 栄子(事務局員)

十月二十八日、前日の台風の影響が嘘のように晴れた。たつた東京で、午前中は「保険で良い歯科医療の実現を訴える街頭宣伝」、午後は「歯は命・歯科医療危機突破10・28決起集会」、続いて「歯科保険医自殺事件緊急抗議集会」が開催され、全国の保険医協会役員、事務局員、その他歯科医療従事者等が集まった。石川協会からは平田副会長と小野事務局員が参加した。以下に参加報告を掲載する。

「保険で良い歯科医療を」とは、まさしく国民の願いであると感じるとともに、「無関心の街、東京」というイメージが変わった、そんな一時間であった。  
その後、午後二時から千代田区・砂防会館で行われた「歯は命・歯科医療危機突破10・28決起集会」には、全国各地から歯科医師、医師、歯科衛生士、歯科技工士、スタッフ、家族など五百六十九人、国会議員・秘書が六人、マスコミ五社の総計五百八十人が参加した。

十月二十八日十一時から東京・有楽町マリオン前で

たして署名してくれる人など、不安を訴えたり、「やらな

行われた「保険で良い歯科医療の実現を訴える街頭宣伝」には、全国の保険医協会役員と事務局員合わせて

不安を訴えたり、「やらな

百五十人が参加。歯科役員八人の弁士が歯科医療の問題点を訴え、一時間のうちに

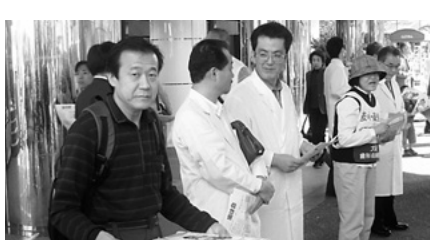
「歯は命」と言いながら署名に

「東京のと真ん中で、果

後には署名用紙が足りなくな



歯科医療の危機を打開するために開かれた決起集会 (10月28日・東京)



街頭署名に立つ平田米里副会長 (左から3人目)

**能登半島震災シンポジウム 開催案内**

## 震災とセーフティ・ネットを考える

～人間と地域復興の視点から～

- 日時／11月18日(日) 10時～12時
- 会場／輪島市ふれあい健康センター(輪島市河井町 電話 0768-23-1136)
- 主催／日本学術会議・金沢大学・輪島市

---

- 司会／井上 英夫氏(日本学術会議連携会員・金沢大学教授)
- 報告①「震災と居住～阪神淡路・新潟県中越・能登半島地震の経験をふまえて」  
早川 和男氏(神戸大学名誉教授)
- 報告②「市民主体の復興計画を考える」  
水野 雅男氏(地域づくりコーディネーター)
- 報告③「住民ニーズと生活の復興～仮設住宅入居者の聞き取り調査をふまえて」  
井口 克郎氏(金沢大学大学院人間社会環境研究科院生)

復興に向けての参加者との意見交流

「歯は命」と言いながら署名に、倍政権の「構造改革」が国民生活に与えた影響と、政

く影響し、まさに「歯は命」であること」を確認、「政府に対し抜本的な歯科医療の改善を求めるとともに、保険で良い歯科医療を目指して、①歯科保険の利く範囲を広げよう②患者の窓口負担を軽減しよう③より良く噛める入れ歯が保険でできるようにしよう④歯周病の治療・管理が保険で十分にできるようにしよう⑤新しい歯科治療技術を速やかに保険適用しよう⑥保険で良い治療ができるよう歯科診療報酬を引き上げようの六つの要求を掲げ、多くの国民や医療従事者とともにその実現に向けて奮闘することが満場一致で採

の實現を求める」意見書が採択されている。石川協会でも、引き続き署名活動を

【関連記事七面】



基調報告を行う原和人全国常任世話人

# 核戦争に反対し、核兵器の廃絶を求める医師・医学者のつどい in 京都

## 憲法九条を活かすことが、日本が世界に果たす役割

白崎 良明(金沢市・内科)

九月二十三日、二十四

日、二十周年を迎えた「核戦争に反対し、核兵器の廃絶を求める医師・医学者のつどい」が京都市内で開かれ、石川県からの十八人を含む計三百三十五人の参加があった。  
冒頭に広島、長崎両市長、原水爆禁止日本協議会、原水爆被害者団体協議会およびIPPNWアジアフォーラム元会長からのメッセージが紹介され、私たちの運動が熱い連帯のもとに進められていることを実感した。

### 国際的な 草の根の運動で

原和人全国常任世話人が基調報告した。核兵器をめぐる情勢では、プッシュとプル権が「統合核作戦ドクトリン」に基づき核兵器先制使用を明らかにし、既存の核兵器全体を新型の核兵器にそっくり取り替える「信頼できる代替核弾頭計画」を進めようとしている。しかし、六カ国協議で朝鮮半島の非核化の動きが進んでいること。二〇一〇年のNPIT再検討会議に向けて二〇〇〇年に合意した核兵器廃絶に向けた明確な約束を再確認するようアジェンダ連合はじめ各国が働きかけを進めていること。六月のIPPNW北東アジア地域会議では、北東アジア非核地帯創設が議論されるなど、核兵器の廃絶に向けて国際的な動きを紹介し、IPPNWが進めるICANN運動(核兵器反対国際キャンペーン)を全面的に支持し、草の根運動を進めようとした。さらに、原爆症認定集団訴訟の勝訴判決を受け、認定基準の見直しを政府に求めるとともに、引き続き被爆者医療の取り組みの強化を求めた。

## 原爆症認定基準 12月初旬をメドに見直しへ

被爆後62年、原爆被爆者援護法制定後12年、原爆症認定集団訴訟が2003年4月に提起されてから4年目となる今年、原爆症認定をめぐる闘いは新たな展開を見せている。

8月5日、安倍首相(当時)は厚労相に認定基準の在り方を見直すよう指示。8月30日、自民党の原爆被爆者対策に関する小委員会は、控訴取り下げと審査方式の抜本的改革などを提言。9月11日には与党プロジェクトチームが小委員会の提言をたたき台にして、12月初旬をメドに救済案をまとめることを決めた。

厚労省は原告勝訴の全地裁判決で控訴する一方で、「原爆症認定の在り方に関する検討会」を立ち上げ、第1回目の検討会を9月28日に開き、2人の原告、日本原水爆被害者団体協議会事務局長田中熙巳氏、原爆症認定集団訴訟全国弁護団連絡会事務局長の宮原哲朗弁護士からヒアリングを行った。厚労省が原爆症認定に関する専門家会議で被爆者の意見をヒアリングするのは、極めて異例だという。第2回目となる10月4日の検討会では、日本被団協が推薦する専門家から意見を聴いた。

### 県内の被爆者(男性・81歳)の声

原爆被害は、これまで国民の中にほとんど理解されていなかったが、原爆症認定申請と原爆症認定集団訴訟を通じて被害の実態が明らかになり、国民世論がつくられてきている。

正直に言うと、私たち被爆者が生きている間に、政府が原爆症の認定基準を見直すようになるとは思いもよらなかった。政府が被爆後62年もたつて原爆被害を認めることは、現在アメリカが行っている核戦略を批判することになるからだ。被爆者運動の広がりとして7月の参議院選挙の結果が、政府与党の政策転換に大きな影響をもたらしている。

日本被団協が9月20日に厚生労働省に提出した「原爆症認定制度の見直しにあたっての要求」(①控訴を取り下げ、すべての訴訟を解決すること②「審査の方針」を廃止すること③新しい「認定基準」による認定制度をつくること④医療分科会を改革すること)に即した早期解決を期待している。

### 【署名のお願い】

現在、提訴している被爆者は22都道府県283人、15地裁、6高裁で争っています。

日本被団協は、12月上旬が運動のヤマ場として、認定制度の抜本改定を求める緊急100万人署名に取り組んでいます。本紙に「原爆症認定制度の抜本改定を求める署名用紙」を同封しますので、署名にご協力いただき保険医協会までご返送ください。

「核兵器反対国際キャンペーン」を全面的に支持し、草の根運動を進めようとした。さらに、原爆症認定集団訴訟の勝訴判決を受け、認定基準の見直しを政府に求めるとともに、引き続き被爆者医療の取り組みの強化を求めた。

特にこの十年間の歩みを詳しく紹介した。  
憲法九条を変える動きが激しくなった以降、つどいスローガンも「守ろう平和憲法、なくそう核兵器」被爆六十年、NPIT再検討会議を契機に(二〇〇四年、札幌)「なくそう核兵器、なくすな九条」(二〇〇五年・名古屋)「横須賀からの発信、核の傘はいらない、はばたけ平和憲法」(二〇〇六年・横須賀)「NO核兵器、LOVE平和憲法」(二〇〇七年・京都)と、核兵器廃絶を求める運動と憲法九条を守る運動は不可分に結びついてきている。

二〇〇四年IPPNW北東アジア地域会議でオーストラリアの

### 世界にはばたけ 平和憲法

最後に、広範な人々の提唱している、日本政府が「核兵器廃絶の提唱」「非核三原則の遵守」を内容とする「非核日本宣言」を国会、国連で行うよう求める運動に積極的に参加しようとした。

### 国連で 非核日本の宣言を

## 市民公開・憲法講演会のご案内

テーマ **もっと知ろう憲法のこと** (仮題)

〈講師〉 法学館「伊藤塾」塾長 法学館憲法研究所所長 **伊藤 真氏**

▶とき **2008年2月16日(土) 午後3時半～5時半**

▶ところ **金沢都ホテル 5階加賀の間**  
(電話 076-261-2121)

▶参加費 **無料**

〈主催〉 **九条の会・石川医療者の会、石川県保険医協会**

\*石川県保険医協会第34回総会・特別講演との共同企画です。

# 中医協において

## 点数改定の本格的議論がスタート

### 後期高齢者の診療報酬も具体案を提起

事務局次長 工藤 浩司

十月から、診療報酬改定の本格的な議論がスタートした。およそ週二回のペースで中医協診療報酬基本問題小委員会が開催されており、その場で厚労省から次々と具体案が提起されている。

来月四月からスタートする後期高齢者医療制度については、独自の診療報酬体系となることが決まっている。その内容が注目されている。外来については、十一月二日の小委員会、厚労省から具体案が提起された。

まず、後期高齢者については既往歴、受診歴等を詳細に聴取する必要があることとから初診料の引き上げを行う、が、それと同時に、慢性疾患に対する継続的な指導管理が中心となることから、再診料は引き下げるとしている。

また、継続的な医学管理については、一定の取り組みを行っている「主治医」について、包括点数により評価するという提案がなされた。この「主治医」の要件として、厚労省からは、①年に一回程度の認知機能等の総合的な評価②血液検査、尿検査、心電図検査、胸部単純撮影、眼底検査、

直腸診、便潜血検査等、慢性疾患の継続的管理に必要な検査の実施③初診時に患者の病歴等を把握④他の医療機関に紹介を行った際の他の医療機関における診療内容等の患者との情報共有

⑤後期高齢者の総合的な評価を実践するための研修等への参加などが挙げられている。

後期高齢者医療の在宅医療については、十月二十六日の小委員会において、①主治医がカンファレンスを通じて患者の利用する医療・福祉サービスについての情報を集約し指導等を行った場合に評価する②居住系施設における往診や指導・管理等について、自宅への訪問とは別の評価を検討する③終末期の診療内容等について患者との十分な話し合いを行い、その合意内容を書面等にまとめた場合に評価するなどが提案されている。

後期高齢者の入院医療については、十月十二日の小委員会では、十月二十六日の小委員会において、①主治医が退院後に引き続き外来で指導を行う場合の評価

②病状安定後早期に退院する差別以外の何者でもな

傷処置や皮膚科軟膏処置の百平方cm未満、眼処置、耳処置、鼻処置、湿布処置などを基本診療料に包括化する(以上、十月三十一日小委員会)

⑤後発医薬品使用促進のための環境整備(処方せん様式の変更、後発品の銘柄指定の処方せんを受け付けた薬局が処方医への疑義照会なしに別銘柄の後発品を調剤することの容認など。十月十七日小委員会)

これら項目の多くは、診療側委員からの反発を招いており、引き続き中医協にて議論が続いているところである。来月号でも追って続報をお届けする予定である。

〈追補〉

先月号で紹介した後期高齢者医療制度の負担増「凍結」については、十月三十日に開催された与党高齢者医療制度に関するプロジェクトチーム会議において次のとおり決着した。

①七十歳から七十四歳までの自己負担増(一割→二割)については、二〇〇九年三月までの一年間実施を「凍結」する。

②新たに保険料を負担することとなる者(被用者保険の被扶養者の保険料負担については、制度加入時から二年間の軽減措置(応能割負担なし、応益割五割軽減)を講ずることとしているが、さらに、二〇〇八年四月から九月までの六カ月間は保険料賦課を「凍結」し、十月から二〇〇九年三月までの六カ月は九割軽減とする。

## 歯科保険医自殺事件の緊急抗議集会

# 会場は義憤の渦になって

副会長 平田 米里(野々市町・歯科)



真相の究明などを目的に開かれた緊急抗議集会(東京)

自殺。今回の事件の問題点と今後の対策は以下のとおり。まず、医療指導官による指導が暴言に終始したことは「懇切丁寧」を旨とする指導大綱に反しており「中断」が長期にわたって続き、その間何の説明や連絡もなく放置する事態が続き、精神的に大きな負担を与えたことが特徴であった。

自殺未遂を図り、予定された監査に出席できないことを医師の診断書付きで申し出たにもかかわらず、何の連絡もなかったことなど、東京社会保険事務局が適切な対応をしなかったことは明らかである。しかも、立会人を実質的に排除したり、指導結果が未確定の段階で脅しをかけたりと、人権を蹂躪する指導が行われた。

中断のまま指導対象者を広げていく方式は全国に拡大する恐れがあり、また、厚生労働省は指導・監査による返還金(昨年総額六十億円、内、指導の返還金三十三億円)の拡大を目指し、来年度は指導・監査の返還金を百億円目標にする方針だという。背景に

は、またしてもあの経済財政諮問会議の意向が働いているように、来年度は昨年度の指導実施件数の三倍近くの八千件を実施する方針であるという。

保団連は、M氏を自殺に追いやった東京社会保険事務局に嚴重抗議すると共に、以下の措置を求める決意を表明し、抗議集会を終了した。

一、厚生労働省は真相の究明を行うこと  
二、M氏を死に追いやったことに対する謝罪と事件に関与した関係者の厳正な処分を行うこと  
三、上記が実行されるまで指導・監査を中止すること

四、指導・監査の在り方を抜本的に改善すること  
自民党政権がアメリカの年次要望書に沿って政策を実施していることは自明だが、経済財政諮問会議は、まるで影の内閣府のように、それを後押しする存在になっているように思える。

時の首相が小泉であれ、安倍であれ、福田であれ、関係ない。諮問会議さえ機能すれば足りるということか・・・。

同十日自殺未遂。同十七日

九月六日に監査の通知

同十日自殺未遂。同十七日

同十日自殺未遂。同十七日

同十日自殺未遂。同十七日



講師の山口敦氏

最近ではインプラントは骨といかに結合させるかという視点の外科主導型から、いかに最終補綴物を装着するかという補綴主導型に変わってきていて、術前に診断での3D画像解析ソフトの1-DRやシミュレーションを用いてシミュレーションすることが、術後のトラブル回避という点で重要であると説明された。

インプラント構造では、アバットメントの結合様式からいくつかの様式に分類され、今後の歯科診療を考えると、予防とインプラントを抜きには語れないし、また天然歯の80パーセントの咬合力を発揮できるオーバーデンチャーのためのミニインプラントや二回法インプラントのための暫時的ミニインプラント(仮歯を即日装着するため)も脚光を浴びるのではないかと説明されていた。

十月十八日(木)、金沢都ホテルにて「インプラントセミナー」を、講師として和田精密歯研のインプラント事業部長の山口敦先生をお招きして行った。



講演では過去から最近のインプラントまでの変遷について、分かりやすく解説された

# 今後の歯科診療に不可欠 予防とインプラント

歯科部 山本 司(野々市町・歯科)

インプラントセミナー

されるが、インターナルヘックスやテーパージョイントのインプラント体のほうがエクスターナルヘックスよりもアバットとの結合が力学的にしっかりとしているのではないかと、また補綴製作の自由度からもインターナルヘックスやテーパージョイントの商品が良いのではないかと説明されていた。

## 第3回 食育講演会

# カムカム大百科「歯科医師から見た食育」

## アンケート結果

- ・講師：岡崎 好秀氏(岡山大学病院小児歯科)
- ・開催日時：10月14日(日)9時半から12時半まで
- ・開催場所：金沢流通会館 4階研修室
- ・参加者：91人
- ・後援：金沢市、金沢市教育委員会
- ・アンケート回答率：69.2%(63人)

### (1) アンケート回答者の職種

職種	人数	職種	人数
歯科医師	15人	看護師	1人
歯科衛生士	20人	医院受付	1人
歯科助手	1人	その他の医療関係者	1人
医師	2人	養護教諭	12人
管理栄養士	1人	保育士	4人
栄養士	1人	行政関係者	2人
保健師	1人	無回答	1人

※(2)、(3)については、たくさんの感想とご意見をいただきましたが、ここではその一部を掲載させていただきます。

### (2) 今回の講演で面白かった点はどんなところですか？

- ・先生のクイズ形式のお話、色々な知識や調査を織り交ぜての話が楽しく、分かりやすかった。思いがけない視点から解説していただき、今まで分かっていなかったように思っていたことも理解がより深まった。(養護教諭)
- ・歯の治療で泣く子と泣かない子に間食の規則・不規則摂取の関係があることや、口と目の関係など普段と違った角度から考えることができ、とても分かりやすく、面白かった。(歯科助手)
- ・歯や口の中だけの話ではなく、歯や口の中の様子を通して様々なことを予想し、検証し、理論的に話して下さったこと。とても興味深く、楽しく聞かせていただいた。大変勉強になった。以前から岡崎先生のお話をお聞きしたいと思っていた。(養護教諭)
- ・私もウンチクが好きですが、それが自分のやるべきことにどう繋がるのか、そもそも自分のやるべきことは何なのか？で悩んでいる。本日の講演で少し明るい出口が見つけられそうな気がした。楽しく、おもしろく、充実感のある講演をありがとうございました。(歯科医師)
- ・障害のある人と口との関係など、興味深かった。自分自身、「ダウン症＝このような症状」と考えていましたが、発想の転換が必要。なぜこのような症状になるのか、ならないようにするには何か援助できることはないかと考えていきたいと思った。他にも今まで受けてきた研修と違った視点からの研修で新鮮でした。(看護師)
- ・乳幼児健診に役立つことやメタボリック症候群予防に大切であることなど、実践的であること。(医師)

- ・唇を閉じる力と虫歯の関係が面白かった。視力との関係性をもっと知りたい。(歯科衛生士)
- ・子どもが虫歯になるのは、生活が大きく関わっているということが改めて分かった。また乳歯のうちに虫歯にならないようにすること、生え変わりの時期に虫歯にならないようにすることが大切だということを保護者などに伝えていきたい。(養護教諭)
- ・普段なにげなく食事をしていることにも深く意味があることが分かった。あごの発達、虫歯予防だけではなく、健康増進、食中毒など本当に噛むことが大切だと思った。(歯科衛生士)
- ・歯は人が生きるための必要な道具であることを、色々な角度から興味深く関心のもてる内容で講演していただき、とても良かった。(養護教諭)
- ・身体機能のすべてが関連しあって生を営んでいるということ、すごく、すごくガッテンした。(養護教諭)
- ・医科で発達遅延とみなされていたことが歯科で改善できること。(歯科医師)
- ・食と歯を同時にとらえているところ。養護教諭として歯磨きをすすめていたが、食についても子どもたちに伝えるべきだと思った。(養護教諭)

### (3) 今後の食育講演会に期待する点はどんなところですか？

- ・歯の大切さや噛むことの大切さを、子ども達やこれから子を産み育てる世代、妊婦さん、乳幼児をもつ保護者に伝えられるような機会となればよい。岡崎先生のお話をもっと聴きたいと思った。(行政関係者)
- ・最近、カリエスフリーの人が増えている一方、歯並びは悪くなっている気がするが、その辺のことを聴いてみたい。(歯科医師)
- ・あごの働き。(医師)
- ・舌によって口が発達する点について、もう少し詳しく教えてもらいたい。(歯科衛生士)
- ・噛むことと歯並びの関係。(歯科衛生士)
- ・子どもに対する食教育。(歯科医師)
- ・食事とメタボリック症候群、成人病について、保健活動へ反映できないかについて。(歯科医師)
- ・年代別の食育のありかた！(歯科衛生士)
- ・「小児と歯」だけでなく、「成人、高齢者と歯」についても知りたい。また、今の子どもが大人になったときに、今の高齢者と違う点があれば知りたい。
- ・心理的発達、精神面への影響、関係性についても聞きたい。
- ・実際に子ども達や母親に指導をする上での実践例や体験例などを教えてくれる内容のものがほしい。(歯科衛生士)
- ・実際に患者に波及できるような具体的な話。(歯科医師)
- ・食に対して常識的に(一般的に)言われていることが本当に正しいのかどうか、「食に対するウソ、ホント」みたいな話。長寿と食の関係など。(歯科医師)

【関連記事2面】





訪問診療のエピソード その①

行動障害の背景

大川 義弘(金沢市・内科)



これまで五回にわたって、いままでも訪問診療に行っていた方四百人弱のデータをもとに「数字と図で見る在宅医療」というタイトルの連載してきました。

今回からは、その方々や現在訪問診療中の方々と興味深いエピソードがあった方を紹介していきます。

◇ Aさんはグループホームにおられ、そこに訪問診療に行っています。○ユニットのグループホームです。その一階の〇〇の間にAさんは住んでおられます。

Aさんは数年前に私の外來にこられ、以後は年に一回、同居のお嫁さんが主治医意見書記載の時にこられて、様子をうかがっていました。シヨートステイ中の特養で、他の居室の高齢女性のおむつを下げ、陰部を出したということで、県立の精神病院に入院したことまでは聞いていましたが、以後の音信は不通でした。グループホームに入られたときに、往診依頼があったら再会したわけです。むしろ訪問診療に行っても、私のことは分からないようでした。

この方が特に印象深いのは、以下の理由から

私は職員などに認知症の話をする機会があるのですが、その時に「認知症の方の行動障害の背景は了解可能である」という原則を説明します。その説明の具体例として、Aさんを挙げさせてもらっていたからです。

日中、お嫁さんと二人で居たときに、ズボンを下げて陰部を露出させたという行動障害があったのです。お嫁さんが外來に来たときに、たまたま診察の最期だったのでゆっくり話を聞いたところ、何となく二人してそうだったのかと合点したことがありました。それは、Aさんの奥さんが潔癖な方で、テレビのキスシーンが出るテレビを消してしまおう、奥さんが肺結核になり夫婦生活を避けたことなどに対する積もり積もった欲求不満が出ていたのかねえという話でした。

お嫁さんもそんな話になってきて「おじいちゃん行動いやだけどおじいちゃんもかわいそうだったのね、少しは我慢できそう」と話されました。それが本当の背景かどうかは分かり

「赤ひげ」のご案内

理事 服部 真(金沢市・産業医療科)

12月8日(土)午後、金沢市の石川県立音楽堂邦楽ホールで前進座の「赤ひげ」を上演します。

前進座「赤ひげ」の原作は、山本周五郎作品「赤ひげ診療譚」(あかひげしんりょうたん)です。原作を忠実に描かれ、しかもこの作品のもっている「新しさ」が浮かび上がってくる劇作りです。

「赤ひげ」は、人間の自然治癒力を待つしかない当時の医療技術を嘆きつつ、江戸幕府の医療行政を批判します。何かと反発していた青年医師・保本登(やすもとのぼる)の成長、ヒューマニズムあふれる医師像を描き「医の原点」とも称されます。

今日でも「赤ひげ」は世相に通じるドラマです。

いま、わたしたちの身のまわりでも医師や看護師が不足し、地域の病院からベッドがなくなる、産科や小児科がなくなる、国保料が高く納められず保険証が取り上げられる、医療機関の窓口負担が心配で治療を中断しているなどの事例が発生しています。

厳しい状況なのに、政府・厚生労働省はひたすら医療費を減らすために75歳以上の高齢者を対象にした後期高齢者医療制度をつくり、療養病床を減らし、患者にさらなる負担と犠牲を強いるようとしています。

「赤ひげ」は、舞台の中で「いつの世でも弱い者が犠牲にされる。彼ら(幕府)にそんな権利があるのか。力さえあればどんな無法なことでも残酷なことでも押し通すことが許されるのか」と怒ります。この「怒り」は私たち医療従事者の「怒り」でもあります。

「赤ひげ」を通じて、現在の医療のありようや私たちがめざす医療など考える機会としてとらえ、12月8日当日の「赤ひげ」公演への参加を呼びかけます。

前進座公演

山本周五郎=原作  
「赤ひげ診療譚」より  
田島 栄=脚色  
十島 英明=演出  
織田 音也=美術  
寺田 義雄=照明  
田村 恵=効果  
岡本 隆史=殺陣  
金子 義広=舞台監督



赤ひげ

人間の本音の価値というものは、その人が何を「たか」ということではない(角をしようとしていない)

公演日 2007年12月8日(土) 開演14時30分(開場14時)  
会場 石川県立音楽堂邦楽ホール 全席自由  
料金 共同組織、職員特別料金4,000円・一般5,000円  
【主催】「赤ひげ」を観る会 連絡先/TEL076-253-1540  
(石川県健康友の会連絡会・石川県民主医療機関連合会)

保険医協会でも入場券(4,000円)を取り扱っています。ご一報ください。

映画狂のぶやき おすすめの1本 その②

奥田 宏(金沢市・心療内科)

この映画は、二重の意味でほくに衝撃を与えた。

芙蓉鎮

一九八七年(中国)

【監督】シェンチン  
【出演】リュウ・シャオチン  
チャン・ウエン

内容の重厚さ、素晴らしいとこの映画を作った人、演じた人が中国にいたというすごい事実を知ったことだ!

悠久の歴史、そして共産主義国といいつながら現在の経済発展を遂げた伸びつつある国、その力強さを映画の中にも垣間見ることが出来る。

物語は、一九六三年湖南・広東・広西の三省の境にある芙蓉川に接する架空の小さな町から始まる。国営食堂の横で夫婦二人で、はやっている米豆腐食堂を切り盛りしている美人の胡玉音(リュウ・シャオチン)、町一番のインテリだが共産党幹部に右派分子とみなされ、さげすまれ、雑用をさせられている秦書田(チャン・ウエン)が主人公である。

胡は一生懸命に働いて小金を貯めるが、新富農とレッテルを貼られ、夫は自殺に追いやられる。胡は迫害されて、秦と一緒に町の掃除をさせられるはめになる。

一九六六年文革が始まり、胡や秦を迫害してきた女性幹部李国香が、今度は紅衛兵たちにつるし上げられて、雨の中、破れ靴を首からかけられたまま晒し者にされる。そんな中、秦と胡はずっと掃除ばかりさせられる。しかし長年迫害され続けると、耐えながら生活を

少しでも楽しくしようと工夫するゆとりを持ち始める。秦の強さ、したたかさ、互いに助け合って生き抜こうとして、二人は愛し合うようになる。そして子どもができるが、そのことで二人は罰せられ、秦は懲役十年、胡は三年の不当判決を受けられる。しかし、秦は胡に「ブタになっても生きのびろ!」と言ひ、服役する。

一九七九年、刑期を終え、自由の身となり、妻の元へ戻ってきた秦は、芙蓉河を渡る渡し舟で自分を迫害した李国香と再会する。彼女は彼に同志と呼びかけて、「あなたの名誉回復は私がサインしたわ」と言う。文革が終わっても、かつて人たちなのであった!!

主演男優、女優自身も文革をばねにたくましく生きて、その後も女優・監督、大女優・実業家となっていくというすごい人たちなのであった!!

# 複眼的に思索する 読書教室

14

## ○テーマ—新書で日本国憲法を学ぼう

喜多 徹(野々市町・内科)

憲法改正とくにその九条についての改憲派、護憲派の両派の争点はどこか。クリアカットに整理することは案外難しい。本格的な憲法論の名著は尻込みしてしまう。そこで比較的読みやすい新書で、両派の代表的な著作を取り上げ読んでみる。

今回は冊数が多く、個別の評論は控え、全書横断的に評論してみる。

①憲法九条を世界遺産に  
伊藤 真 (集英社新書)

②憲法九条を世界遺産に  
太田 光・中沢新一 (集英社新書)

③憲法と平和を問いなおす  
長谷部恭男 (ちくま新書)

④日本国憲法を考える  
西 修 (文春新書)

⑤日本国憲法とは何か  
八木秀次 (PHP 新書)

読んだ本

左(護憲派) 右(改憲派)  
(注: 左(護憲派)、右(改憲派)の表現は、筆者の勝手な判断です)

### ●憲法の理念、成り立ち、立憲主義について

司法試験受験塾を主宰する伊藤真氏は、熱心な護憲派で平和主義者である。伊藤氏は自分は「立憲主義」の立場であると言う。立憲主義とは憲法が国家権力を法的に制限する立場、あるいは国家権力を制限して国民の人権を保障する立場である。この立場は、改憲派として著名な小林節慶應大学教授とも意見が一致する。これは近代憲法が、ホップズやロックなど社会契約説より発展してきたことよりの当然の結論と思う。

一方、改憲派の八木秀次氏などは、憲法には二つの意味があって、本来の意味での憲法は、日本の伝統や文化いわば国柄というものを反映させねばならず、今の憲法ではそれは決定的に欠いていると説く。

八木氏の明治憲法と現憲法の比較論は良くできていると思う。護憲派もこの点は無視できないと思う。

これに対し東大法学部教授の長谷部恭男氏は、同じ立憲主義を重視するが若干見方が違う、これについては後述する。

### ●憲法九条と平和主義について

タレント太田光と宗教学者中沢新一の『憲法九条を世界遺産に』はとてもユニーク。現憲法は敗戦後の特異な時期、環境の下で、まさに奇跡的に生まれた。このような絶対平和主義的な憲法は、今後も生まれまいだろう。だから世界的遺産の価値があると言う。2人の対談はまさに漫談で突っ込みの太田とほけの中沢の波長が絶妙で読ませる文章になっている。芸人太田の才能はすごいと思う。中沢は10年前の「オウム事件」のこともあり、ちょっと信用できない面があるが。

伊藤の平和論も自身の体験も絡めて分かりやすい主張で、護憲派にとっては共鳴できる論調である。

改憲派の西修氏の各国憲法の比較論は圧巻である。またこの九条制定時の日米両国の事情、その後の今日までの混迷した論議など丹念に調査している。とにかく西、八木の両氏とも、日本を取り巻く現実との解離、解釈改憲の限界を指摘している。

### ●改憲について

西は各国憲法比較論で、わが憲法は15番目に古く、120カ国の憲法に平和条項があり、時代の変遷に即し、各国で改憲も頻繁に行われていると説く。また現憲法はいかにも翻訳調、冗長な記載で、誤り(7条)、矛盾(89条)、重複(11条と97条)などもあり、改憲が必要と主張。

八木氏は、もちろん憲法に「国柄」が滲み出る表現が必要と説く。伊藤氏の絶対平和主義の立場。自身の「こころ」の変遷から、軍隊を持たない立場こそ世界に胸を張って誇れる憲法であると説く。

また、先ごろ成立した国民投票法(手続法)の不備。立憲主義を理解しない(したくない)改憲派国会議員の発言を鋭く批判している。

### ●護憲運動と長谷部理論

現状は護憲、改憲がっぷり四つであり、妥協の余地無く、平行線といったところ。

長谷部氏の理論は、護憲派といっても伊藤氏などと若干肌合いが違う。まず、民主主義と立憲主義の関係を論じる。民主主義は多数決の原理で社会的な決定を下すが限界がある。民主主義では決められない問題があり、民主主義がそこを超えないように警備するのが立憲主義の眼目である。憲法には解釈上、一義的に定める「準則(rule)」と答えをある方向に導く「原理(principle)」があり、九条は原理とならざるを得ない。平和主義と言っても絶対平和主義、パルチザン(人民蜂起)、非暴力非服従などあるが、筆者としては、立憲主義と衝突せず、実効的な平和構想は、「穏やかな平和主義(自衛のため何らかの実力組織の保持は否定しない)」が現実的であるとする。

この長谷部理論を理解するには西洋哲学史の素養とか「ゲーム理論」などの現代の思想的基盤が必要。まえがきでも述べているとおり、決して単純な理論ではない。多少の読みにくさは我慢しなければならない。

しかし、護憲運動と言っても「ダメな物はダメ」とか感情的・情緒的護憲論や反戦論は、現実には世論を変えることは無理だと思う。小生は、今の護憲運動にはその点で若干懐疑的である。改憲派にとっても長谷部氏の理論は「護憲派の最後の防波堤」と警戒する氏の著作をぜひ護憲、九条擁護派の方も読んで欲しいと思う。

最後に自分の見解としては、長谷部氏のように、今、差し迫って改憲する理由はなく、国際情勢を見ながらじっくり議論すべき。日本を含む東アジアの平和と安定は各国間で集团的自衛権ならぬ、集团的安全保障で将来的には達成されるべきと思う。



来年度の石川県保険医協会第34回定期総会(2008年2月16日)には、今回取り上げた伊藤真氏を特別講演者として九条の会・石川医療者の会と共催で招聘する予定である。ぜひご参加いただきたい。

【関連記事6面】

## 秋の文化企画、中止に

11月11日(日)に予定されていた秋の文化企画『泉鏡花「滝の白糸」朗読とひがし茶屋街散策』は、最低催行人数に達しなかったため、中止になりました。

### 将棋解答

(問題は12面にあります)

黒1が妙手で白2には3から5で攻め合い勝ちです。黒1でイは白2黒ロ白ハ黒ニ白1黒ホ白5でオオトシとなり失敗です。黒1で2あるいは5では白ホ

《解説》3二飛は1一玉で、1三桂成は同玉でいずれも読みません。2三歩成から1三桂成が好手順で、同桂なら4二飛以下の早詰め。同玉に1四歩で追い、3二銀成が決め手に、1一玉なら3三馬以下の早詰めなので同玉ですが、限定打の5二飛。桂を消すことにより2五馬が実現します。

(問題は12面にあります)

# 『石川保険医新聞』2008年新年号

# 原稿募集のご案内

2007年も、残すところあとわずかになりました。保険医協会では、新しい年を迎えるに当たり、『石川保険医新聞』2008年新年号の編集を始めました。

取材記事を充実させ、特別企画にも力を入れます。そしてなにより大切にしたいのが、たくさんの会員の先生・ご家族をはじめ読者の方々にご登場いただくことです。

テーマは特集が「鼠」。そして「自由」テーマです。ぜひ、皆様の原稿をお寄せください。

- 読者投稿のテーマは自由です
- 字数は800字程度(最長1200字)
- 原稿締切は12月5日 正午・必着



特集のテーマは  
『鼠』、  
ぜひ原稿を  
お寄せください。  
チュー心より  
お願いいたします。

## 原稿の送り方.....

■編集作業が大幅に省力できますので、できましたら、E-mailにてお送りください。もちろん、FAXや郵送でもかまいません。

掲載させていただきました場合は、薄謝をお送りいたします。

## 石川県保険医協会『石川保険医新聞』編集部

F920-0902 金沢市尾張町2丁目8番23号(太陽生命金沢ビル6階)  
TEL (076) 222-5373 FAX (076) 231-5156  
E-mail : iskw\_sugino@doc-net.or.jp

お問い合わせは  
保険医協会事務局の  
杉野までお願い  
いたします。

# 映画『シッコ』を見て

映画『シッコ』の入場券プレゼントに多数のご応募ありがとうございました。  
映画をご覧いただいた方々から寄せられた感想を一部ご紹介します。

●早速、観に行きました。土曜日の夕方というせいもあるのか意外と封切したばかりだというのに、人はまばら状態で席も自由に選べました。おかげで、最後まで快適に観続けることができました。若い人はほとんどいなく、見に来ている人も医療関係の方が多いのかなと勝手に想像していました。

内容はというと、アメリカの医療保険の現状について皮肉をふまえて患者の負担金を切り口に風刺したもので、結構面白かったです。その患者負担額の大きいことには非常に驚かされました。そのほか、対比として世界の患者負担額のない国の医療水準がアメリカに大差ないこと(場合によっては手厚い印象も・・・)の事実。

日本の医療保険制度の方向性は患者の負担増、受けられる医療水準低下の懸念があり、そんな先が少し見透かされたのかなという感想です。ぜひ、すべての人が常に最善の医療を受けられるように、医療を提供する人も医療を受ける人もその制度を管理する人も皆、同じ方向性を向く必要性があるのでしょうか。

(木下幸二/金沢市・歯科)

●アメリカにおける医療保険制度の問題点を強烈に風刺したドキュメンタリー映画である。イギリス、フランス、キューバなどの国民皆保険、医療費無料の国との対比が際立っていた。

一方、日本の現状に目を向けると、近年の極

端な医療費削減政策のあおりで、医療費個人負担の目に余る増額や保険料徴収の拡大が、国民を苦しめている。今後、治療の保険外しや国民皆保険制度の崩壊、民間医療保険への移行が見え隠れしており、このままでは近い将来、アメリカの二の舞になる危惧を強く感じた。

この映画では、展開が速く、一般の視聴者には、十分理解できないところもあるかもしれないが、ぜひ一度ご覧になっていただきたい。

(松葉 明/白山市・外科)

●米国では「金のない人は医療を受けられない」とは李啓充先生の話で知っていたので、『シッコ』はそのような米国の現状と、それよりはちょっと「ましな」どこかの国の医療事情を紹介してお茶を濁したものかと高を括ってました。

しかし冒頭から次々紹介される米国の現状は、「これは何かの舞台上の悲劇か!？」と思わせられるほどの驚愕の世界。こんな仕打ちが「人間」に対してなされてよいのか?

対して、次に紹介されるカナダやフランスの現状は、「これは喜劇か!？」と思わせられる天国の世界。現在の日本はその中間で、間違いなくアメリカに近づいていることにハッと気付いて恐ろしくなる。同じ地球上の相反する世界だが、奇人ムーアは米国の悲劇の主人公をキューバに連れてゆくという暴挙に出る! 米国にとってのキューバといえ、日本にとっての北朝鮮のような存在。だが米国で身も心も荒んだ主人公が敵国で人間らしい輝きを取り戻していく様は、まさに感動。医療者の姿を見ても、「レセプトが通るように検査しよう」や「ベッドを回さねば」とのプレッシャーさえ無ければ、医療者はこんなに聖職者になれるんだとまた感動(そして反省!)。考えてみれば、医療なんてま



さに社会主義的な業界です。

かつて皆保険制度が「死に体」でなかったころの日本の医療を見た外国人が「日本は、医療だけは社会主義だ」と評していたのを思い出した。「人類は皆兄弟」の笹川良一よりも、ムーアが「皆、同じ船に乗った兄弟」と言うラストでは、後光が差して見えた。

国民にとっては何やら分からないうちにどんどん医療が切り詰められていく。ここは医療者一人ひとりが「マイケル・ムーア」になることこそが必要であり、また聖人ムーアの望んでいることでもあると思う。

(岩田竹矢/金沢市・内科)

●アメリカはやはり民主主義や基本的人権の守れる国ではなかった。少なくとも、日本がめざす民主主義や人権はアメリカにはない、という思いを強く抱いた映画であった。健康で自信をつけさせたら、国民の暴動が起きるだけなので、あえて国民の健康維持をさせないというのは基本的によくわかる。もともと、アメリカでは年収5,000万以上でなければ、まともな医療は受けられないと聞いていただけに、やっぱりそうかとの思いだ。日本はもっとアメリカの影の部分に関心を持つべきだが、NHKや民放各社は、そうしないのは何故だろうか? 8月の終わりに、NHKがめざらしく5分間だけアメリカの医療の影の部分の放送したが、それで終わりだった。影の部分は放送しづらい環境になっていることを国民は知るべきである。国民皆保険をきちっと維持することが、国の本当の国力であることを国会議員の方が理解できればいいのだが。年収2,500万の日本の国会議員では、アメリカでは医療は受けられないのだから。

映画は、近未来の日本の医療の現状を覗いているようであった。保険会社がこの検査は適応がないと判断しているあたりは、社会保険事務局が今、同じように根拠もなく、適応がないと認定している現状とまったく同様に感じた。命の大切さが分かる国作りは、わが国ではまだ始まっていない。(匿名希望・歯科医)



藤村和昌先生の **えっせー・エッセー・essay**

# フランスへの旅(下) ナンシーの思い出

藤村 和昌(金沢市・眼科)



ナンシー市役所のカレールーム

一九九〇年、金沢市医師会とナンシー市医師会が提携することになり、その署名の式典のために、梅田俊彦会長をはじめ私たち訪問団は、ナンシー市を訪れました。

ホテルに到着して着替えると、ナンシー市医師会から迎えが到着したからロビーに出るようにとの連絡がありました。玄関から出てみると、ルノーかプジョーか忘れましたが、小型車が止まっていた。通訳に紹介されてびっくりしました。

その後、ナンシー市立病院や大学病院を案内されましたが、最も驚いたことは、病院の中庭に教会のような建物があったことでした。それは教会よりも小さいビーの両側から美しい曲線を描いて二階のカレールの間(Salon Carre)へと導く階段をゆっくりと登ってゆきました。壁面にはルネッサンス風の絵が描かれており、なんだかヨーロッパ貴族になったようにうっとりとした気分になりました。

午後からは両医師会による医学カンファレンスがあり、その後、いよいよナンシー市役所での式典です。ナンシー市役所は世界遺産に指定されているスタニスラス広場に面していて、その建物は数百年にわたって、この広場で起きたことをあまねく見てきた悠久の風格と気品を具えています。

私たちは、正面玄関のロビーの両側から美しい曲線を描いて二階のカレールの間(Salon Carre)へと導く階段をゆっくりと登ってゆきました。壁面にはルネッサンス風の絵が描かれており、なんだかヨーロッパ貴族になったようにうっとりとした気分になりました。式典の行われるカレールの間は、やはり時代を思わせる壁画が四面を飾り、寄木細工のような床は年月を経た深い光沢を放っていました。この広間に、だんだんと人々が集まり、署名のたのめテーブルなどが整えられました。そして、大勢の人たちの見守る中、梅田会長とナンシー医師会長ヴァラン教授が席に着きました。署名の瞬間は、言葉では言い表せられないような感動に包まれました。

## 病院の中庭にチャペルが 平和の鐘の音に癒されて

一九九〇年、金沢市医師会とナンシー市医師会が提携することになり、その署名の式典のために、梅田俊彦会長をはじめ私たち訪問団は、ナンシー市を訪れました。

その後、ナンシー市立病院や大学病院を案内されましたが、最も驚いたことは、病院の中庭に教会のような建物があったことでした。それは教会よりも小さいビーの両側から美しい曲線を描いて二階のカレールの間(Salon Carre)へと導く階段をゆっくりと登ってゆきました。壁面にはルネッサンス風の絵が描かれており、なんだかヨーロッパ貴族になったようにうっとりとした気分になりました。

午後からは両医師会による医学カンファレンスがあり、その後、いよいよナンシー市役所での式典です。ナンシー市役所は世界遺産に指定されているスタニスラス広場に面していて、その建物は数百年にわたって、この広場で起きたことをあまねく見てきた悠久の風格と気品を具えています。

### 原稿募集中

趣味や旅行記、医療・福祉に関してや平和、環境問題についてなど、会員寄稿をお待ちしています。事務局の杉野までご連絡ください。076(222)5773

## 会員リレーエッセー

◆100◆

### 死後の活動

勝木 育夫 (小松市・耳鼻咽喉科)

「千の風になって」という歌が大流行で、CDの売り上げがクラシック畑の人の演奏では初めて四百万枚を突破して、新記録を更新中だそうである。親しみやすく美しい旋律だし、私も好きな歌の一つではある。

しかし、歌詞の内容を見ると、死んだ私は墓の中におらず、風になって大空を吹き渡っている。その上、秋には光になって、畑に降りそそぎ、冬は雪になる。朝は鳥になって、あなたを目覚めさせるし、夜は星になってあなたを見守る、というものである。

科学的に考えれば、こんなおかしなことはない。でも、文学や芸術、あるいは神話や寓話などの中には昔から死後の活動の表現はされてきたし、宗教の中でも、地獄、極楽あるいは天国と、死後も生きて

いるかのように感じ、考え、行動したりして、中には優れた芸術作品もずいぶんあるし、それなりの意義はあると思う。

しかし、私たちは芸術や空想の中のことと、現実の生死とはしっかり区別して認識していかなければならない。大体、霊なるものが活動するエネルギーがどこから来るか?と考えると、あり得ないことは明らかである。これらはすべて、今生きている人の脳の働きの結果なのである。

ところが最近では、いわく背後霊だとか、誰も触らないのに物が動くとか、先祖や別の人の祟りだとか、実際にはある、または起こるはずもないもの、あるいは事が、さも現実にあるかのように盛んに取り上げられていて、特に若い人々の間には物語りと現実とが区別できない人がかなりいるらしい。また、それにつけていって詐欺まがいのことも行われているようだ。

もつと死というものを見つめ、残った人が亡くなられた人の意思を受け継いで発展させる努力をすることが大切なのである。

広島にある「安らかに眠りください。あやまちを繰り返しませんから」という言葉の気持ちをも、原爆ばかりでなく、すべての人の死に広めて考えるべきなのではないだろうか。

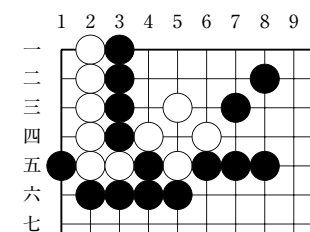
## 豆情報 <5割引の本> インターネット上で販売

本は出版後何年たっても定価販売されるのが常識ですが、出版社が定価の5割引きで、インターネットを通じて直接販売する「謝恩価格本フェア」(<http://www.bargainbook.jp>)が10月12日から12月12日まで開かれています。2003年秋から年2回行われ、今回は107社が参加。欲しかった本や、見たことがないような本が格安で買えるチャンスです。

これとは別に、小学館や集英社など大手出版社17社が、発売後1年以上経過した「在庫僅少本」をインターネット上で、半額で通年販売する「ブックハウス神保町.com」(<http://www.bh-jinbocho.com>)が10月から始まりました。どちらも合計1,500円以上は送料無料(1,500円未満は送料300円)。期間終了後は定価に戻ります。本屋さんが少ない地方などで本を入手するのに便利です。

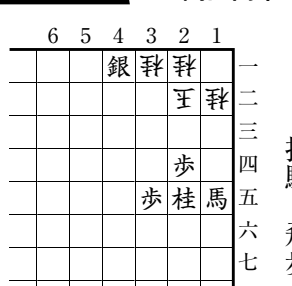
### 囲碁 出題 九段 佐藤昌晴

黒先白死 5分で上級者  
<ヒント> 初手が意外な一手。



(解答は10面にあります)

### 将棋 出題 六段 高田尚平



<ヒント> 収束で馬が動く。  
10分で初段。

(解答は10面にあります)

ナンシー市内では、温かい人の心に何回も触れることができました。ある時、私たちはナンシー駅まで歩こうとして、道に迷ったことがありました。歩いてきた若い男性に道を聞きましたが、当時はまだ、うまくフランス語が通じませんでした。なんとなく分かったような気になって、ウイメルシーと言って歩き出しました。ところが、若者は、本当に分かったのか心配だったので、ナンシー駅が見えるところまで、私たちを送って来たのでした。

旅の出会いには楽しいものです。名前も知らず、その場限りでも、その暖かさや爽やかさはいつまでも忘れません。